



新任の先生&教育実習生の方へインタビュー！第1弾！

今年度新しく赴任した先生・教育実習生の方に、読書についてお聞きしました。皆さんもぜひ、先生方のおすすめの本を読んでみませんか。今後数回に分けてご紹介します。

- ① おすすめの書名 / 著作者名 / おすすめの理由
- ② 普段どんな本をどれくらい読みますか？
- ③ 桂桜生にメッセージをお願いします。

今川 拓 校長先生（地歴・公民）



- ① 『コーヒーが廻り、世界史が廻る』
～近代市民社会の黒い血液～（中公新書） 臼井 隆一郎 著
コーヒーがどうして飲まれるようになったのかに始まり、第二次世界大戦までの世界史において、コーヒーがどの場面でどのように関わったのか。30年前に出版された本ですが、コーヒーという商品を通して歴史に触れてみましょう。ちなみに中公新書には、角山栄著『茶の世界史』も、茶華道部の皆さん、いかがですか？
- ② ここ20年位、読んですぐ何か役立ちそうなタイトルの本ばかり買っては、読まずに放置。電子書籍にも手を出しましたが、キャンペーンにつられてばかり。
- ③ こんな私が言うのも何ですが、本との出会いが人生を変えることも。出合うためには、まず本を手にしなないと。図書館に足を運ぼう。

須田 和仁 教頭先生（工業）



- ① 『城塞』 司馬 遼太郎 著
天下無双の城塞である大阪城を舞台に、徳川家康と豊臣家の最終決戦。登場人物の心の動き、戦略眼がおもしろい。ここ数年は司馬作品ばかり読んでます。
- ② 若い時から毎晩、読書しています。同じ作家のものを連続して読んできました。
- ③ 読書はいろいろな事を知りたいという活力が湧いてきます。桂桜生もどんどん読書してください。





齊藤 恭子 先生（国語科・3年副担任・演劇部）

- ① 『2.43 清陰高校男子バレー部』 壁井 ユカコ 著
もっと高く、もっと強く。仲間を信じて勝利を掴め。メンバーの8人の元弱小チームが頂点を目指すー。特に黒羽と灰島のエースコンビがいい！！
- ② 職業柄、教科柄、文章を読むことが多くてほとんど読みません…（苦笑）。
- ③ 友だち、そして仲間を大切に！そして、瞬間(とき)を大切に！

牌効率 リーチ 手役 鳴き

麻雀技術

井出洋介・小林剛 一冊の教科書

効率的なアガリ方



花田 京佑 先生（教育実習生・工業）

- ① 『麻雀技術の教科書 効率的なアガリ方』 井出 洋介・小林 剛 著
麻雀は少し暗いイメージがあるかもしれませんが。しかし今はMリーグなど麻雀の「プロスポーツ」化を推進していて老若男女遊べるクリーンなゲームになっています。この本は、基本的なルールを覚えた中級者の方にオススメの本です。
- ② 料理のレシピ本や趣味の麻雀の本を読みます。大体、週一で読みます。
- ③ 皆様もまず、好きな事の本を読むといいと思います。そこから本に興味を持ち、様々なジャンルに手を出して読んでみましょう。



石戸 脩斗 先生（教育実習生・工業）

- ① 『人生は20代で決まる』 メグ・ジェイ 著 / 小西 敦子 訳
大学1年生の時にこの本に出会い、20代のうちにどんなことをした方が良いのかを知りたくて読みました。この本では20代のうちにしておいた方が良く、どのような行動を心がけるとよいのかを学びました。これから何をするか、どう過ごしていくかを考えられる機会になると思います。是非読んでみてください。
- ② 大学の図書館で週2～3回程（1～3冊）建築学や心理学の本を読んでいます。
- ③ 本は知識だけでなく新たな考え方・生き方を学ぶことができると思っています。是非みなさんにも多くの本を読んでいただきたいです。

